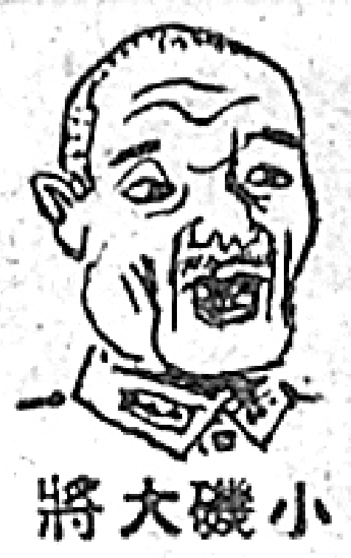
## 新大臣の横顔 ㊤

組閣の大命は陸軍の先輩小磯、海軍の先輩米内の兩大將に降下せるを以て大隈、板垣の所謂隈板聯立内閣の先例に比するは一應尤もだが今度の内閣を以て單なる陸海軍聯立内閣とするのは當らない、大隈の進歩黨、板垣の自由黨は官僚閥族を共同の敵としながら、然も兩黨は犬猿の間柄であつた、それが合同して憲政黨をつくり、政黨内閣として文字通りの聯立内閣は出來たが、出來た日から猟官運動で内輪揉めが始まり四ケ月の短命に終つてゐる、内閣の首班はなるほど陸海軍人だがそれらの代表といふ譯ではない、だから聯立内閣といふ表現は當らぬのみか、左樣な表現によつて今更結ばれなければならぬほど、わが陸海軍の間は水臭いものではない、さて小磯氏も苦勞人、米内氏も苦勞人、然も政治家としての幅は廣く滋味に富む、この兩者の協力内閣であることに期待は大きい

# 毅然たる苦勞人

## "朝鮮の虎"に一億期待す


小磯大將

軍人として小磯將軍の最も華やかだつたのは軍務局長時代であらう昭和六年といふ年は滿洲事變を中心に陸軍が革新への跳躍臺に立つた時で國論を現状維持から革新へ引つぱり出した歴史的な年だ、小磯氏は宇垣、南の二陸相にわたる軍務局長をつとめ滿洲事變起るや徹底的解決論を堅持し、時の若槻内閣の幣原外交および軍の内部にもやくしてゐた不擴大主義を壓倒して陸軍革新將校の陣頭に起つた彼であつた、その後、荒木陸相の次官から關東軍參謀長に榮轉したが、これはむしろ敬遠された形であつたが、しかし新しき滿洲國建設については事變前後から深い内面指導力を握つてゐたのである、二・二六事件では、建川美次、柳川平助、小畑敏四郎等のホープが退却した、小磯中將また噂に上りはしたが現役に止まつて大將、朝鮮軍司令官と榮轉して近衛内閣の板垣陸相時代豫備役に編入された、折柄の支那事變に同輩、後輩が續々前線の軍司令官に出で征く、寺内、畑、杉山の諸將は既に元帥である、これ軍司令官たりしためである、この點、小磯將軍の軍人としての終りは惠まれたものといへない

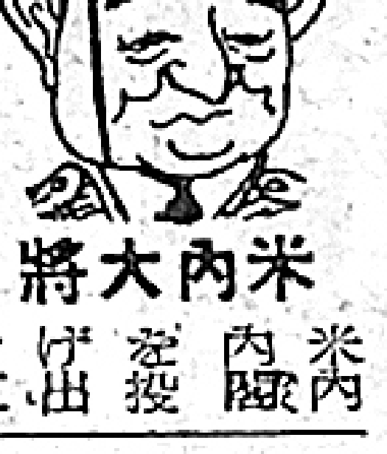
### 円轉洒脱な苦勞人

政治家としての小磯氏は、既に陸軍中將時代から、平沼男の國本社に關係し、森恪、久原房之助、中野正剛ら政黨人とも深く、豪放の裡に細心緻密、円轉洒脱の政治性を藏してゐた、現役を退いて間もなく平沼、米内兩内閣の拓相、そして今日首相の印綬を帶ぶるの素地はこの間にじつくりつくられてゐたのである

### 期待される政治力

人はよく"朝鮮の虎"などと恐ろしい形容をもつて彼を評す、風丰然りと雖も心情は苦勞人である、今は老熟して總融和性に富む、元の古豪の陸軍及び太平洋戰爭の指導力を握り、海軍との間に立ち必ずその融和性を發揮し潤滑油の役割を果し、戰局を有利に攻勢轉移する政治的動力たるであらう、新首相は滿洲で、朝鮮で、苦勞して來てゐる、さうかと思へば、第二次近衛内閣の時、蘭印の視察を委囑されたが、兵力を伴はぬ素手の視察では國權伸張にならぬと拒絶してゐる、この二點を併せ考へて"毅然たる苦勞人"といひたいその點に新しく強い政治を期待するのである

# 何物にも屈せぬ風格


米内大將

米内内閣を投げ出して以來悠々たること四年、その間にも米内の呼聲は事ある毎に傳はつた、重臣の一人として、又海軍の先輩として何時かは政局の檜舞臺に踊り出る日のあることは誰にも豫想されてゐた、そこへ今次の大命である、感銘頗る深い、米内提督の出現、特に海相就任は世相に不動の暗示を與へる期待が持てる

### 大南洲を想はす人

提督は西郷南洲を海軍仕立にしたとでもいつたら適するやうな無慾淡々、然も何物にも屈せぬ毅然たる風格を備へてゐる、林内閣に迎へられ聯合艦隊司令長官から海軍大臣になつた時"軍神になつた"と述懷したが、これは本當であらう、海相を歴任すること四年その下に次官として終始山本五十六元帥が名海相を益々大ならしめたものだ、山本元帥はカミソリの印象を與へ、米内海相は春風を思はせた、この反對性が天啓的にしてウマが合つたのだ、山本元帥が聯合艦隊の司令長官となつて、ハワイ海戰からマレー沖海戰と次々に大戰果を擧げたのを、米内大將はどんなに喜んだか知れぬ、山本元帥また"米内さんが長官で自分が參謀長を勤めたい"と述懷したといふ噂も聽いた、噂に過ぎぬかも知れぬが、ありさうな噂である われわれも亦この海軍の至寶を再び"軍神"にしたことを惜しむ、旗艦の艦橋に立つ悠々毅然たるその姿を想像して見るのも不愉快ではないか

### 重臣の寵兒提督

米内提督は重臣の寵兒といはれる、米内内閣は昭和十五年の一月に阿部内閣の後をうけて成立したが、時の内大臣湯淺倉平氏と、海軍の長老にして重臣の一人岡田啓介大將の推輓によるものといはれた、然し御本人の米内首相自身は重臣の恩顧も感じてゐなければ、その推輓によつて宰相の印綬を帶びるを名譽とも思つてゐる譯ではない、たゞ推輓者側からすれば國家のためにこの人を必要としたにすぎないのであつた

---

## 家鄕だより

**福井**　敦賀驛員は昨年の支那事變記念日に一千円の獻金醵出を申合せ竹筒を備へて全員毎朝一錢づつ納めて來たところ念願の一千円が溜つたので二十二日獻金

**三重**　縣下三十六中等學校の三年以上男女學徒は二十五日から職場へ進出、各學校別に就勞工場を決定する▽鈴鹿市石藥師町松永橋雄君はこの程晴れのお召を受けたが征く前に是非麥の供出を終へたいと聯合町内會長や農業會に申出で手續を完了し市内の供出一番乘りをして出發

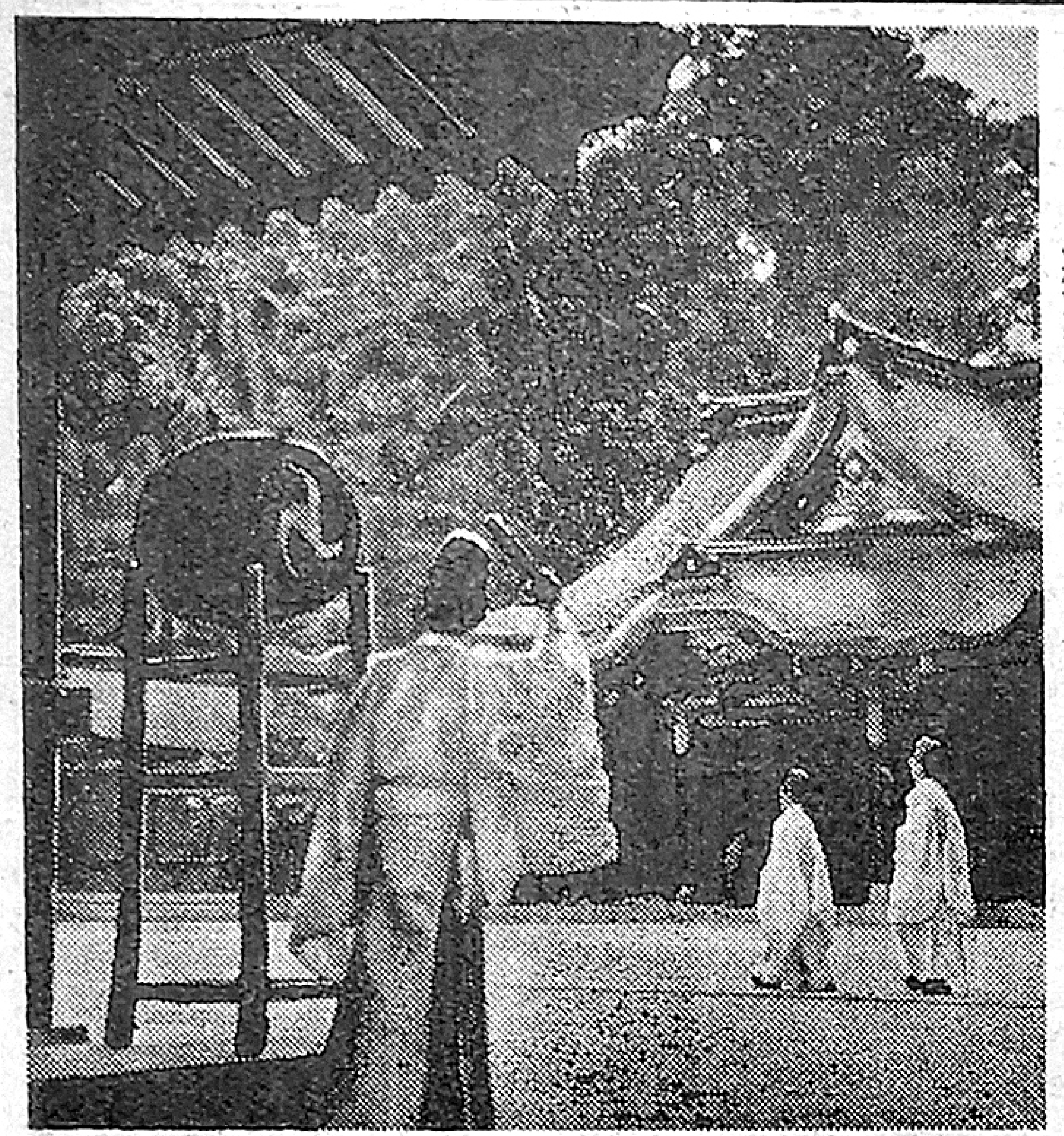
**岐阜**　揖斐實業學校の豫科總志願者はサイパンの恨みを晴らせと激增二十二日までに前年度の五倍を突破した

---

# 思ひ切つた施策を

## 新内閣へ生產陣の要望

敵前内閣更迭は成つた、小磯、米内兩大將を中心とする閣僚も決つて親任式も濟み民心を一新してこゝに新内閣は國民の陣頭に起つて敵米英擊滅の烈火の突進を開始したのだ、新内閣が生れたとて戰爭一本槍に變りはない、あくまで強力に必勝に向つてわれらの生活を押し進めるばかりである、これがアッツ、タラワ、マキンのそしてサイパンの復仇を誓ふ一億の心からの叫びであり、また盛上る必勝への喊聲でもある、敵を倒すのは實にわれ〳〵なのだ大命下、決死の勇を奮つて一億體當りする鐵の決意はできてゐる、この烈火の決意をガッチリ把握し燃える鬪志を戰爭一本に率ゐて行くこそ新内閣の重責でもあるのだ、いまこそ一切の經緯をすて總力を結集して敵に當るの秋なのだ、一億赤子、軍官民一體あげて驕敵打倒に心身をうちこまん 一億の絶叫は心の底から沸騰してゐる、國民を信頼し強力なる陣頭指揮に當ることを國民は強く要望してゐる產業戰士、產報關係者間の切なる聲もこれを物語つてゐるのだ



# 仰ぐ武神の加護

## 極天護皇基

鬱蒼たる老杉の梢をあかねいろにそめた旭日は、やがて激しい夏の光に移らうとしてゐる、百千の小鳥のさへづりに交つて聽える朗々の祝詞——"優なす國のことごとを遙かに打滅ぼし八紘を掩うて宇と爲し大御業を護り幸ひ給ひ……"千葉縣香取町香取神宮の祭神伊波比主命は國はじめの往昔荒ぶる神々を言平け給うた武神におはしまし、冥助を仰いでまゐるもの數を知らない、勇壯なる號鼓とうとうとしじまを破り、神職の戰勝祈願が終るころ、團體のみでも三百組に上る日參の人々が十里の道を遠しとせず集りよる、雨の朝も風の夕も戰ひ勝つ日まで續けられるのだ、神明の加護を念ずるは一身一家の安全ではない、滅敵の機を更に惠み給へ、力を與へ給へかし、まこと武運の長久をこそ祈るのである、細戈千足國に生を享けた一億はいまこそ神意奉行の選民として國體護持國土防衛に雄飛すべき秋である、一人々々が見敵必殺の征矢として…（香取神宮にて）

---

**產報**

# 熟練者が雜役だ

## 突込んだ運營を望む

愛知縣產報では新内閣に次のやうに要望してゐる、必勝生產を強度に推進するため決定した勤勞新體制確立要綱の具體的實踐機關として產報が生れて僅々四年、今日の如き生產の大機動部隊となつたがこの要綱には大體の基本方針が示されてゐるだけで具體的な運營には觸れてをらず、本年三月の勤勞緊急方策にも指示されなかつた、今日生產陣を率ゐる產報の使命は實に重い、この際產報を十二分に活用するやうもつと突き進んだ運營上の措置を國家として考慮し指示して欲しい、勞務方面にしても、一工場の熟練者が徵用される結果その工場の能率が低下しただけでなく徵用された熟練者が一役夫に使はれたり、全然變つた職場へ廻されるといふふうで技能を全然殺してゐる、これらも十分にその工場の實態を見究めて行ふやうにしたい、學徒の勞務管理も燃え上る純心な氣持を現在では十分生產面へ出せない憾みがある、工場、學校、指導官廳が完全な一體となつてこの逬る滅敵魂を思ふ存分職場に活かすやう國家的方策の確立が必要だ、物資の配給が產報以外に統制會あり其他航空工業會縣經濟部、商工課、軍需增強本部といつた風に實に多元複雜だ、工場に關する配給は產報一本建とすることが工場自體にも時間、勞力の上からも必要である、急速な一元化が望ましい

**工員**

# 仕事に沒頭させる

賃金、待遇などは必ずしも問題でない、我々が一途に敢鬪できるやうな施策を講じて欲しい、それには勤勞管理の改善と工場指導者の頭の切替へが必要だ、心では濟まないとは思ひながら工場を缺勤して買出しに行かねばならぬやうな配給機構を改善することも希望する、要はもう一つ思ひ切つて大膽な施策を斷行して欲しい

# 藤原さんは解る

## われらの大臣を喜ぶ工員

藤原氏

新軍需大臣藤原銀次郎氏へ中京生產陣の期待は大きい、一地方新聞記者を振出しに三井銀行、三井物產を經て不振の王子製紙を盛り返した手腕、昭和六年關東產業常務委員長だつた關係から華やかな勞資鬪爭の渦中に突入、終始陣頭に立つて采配を揮つたゝめ當時は一部から目の仇にされたが一般からはその實行力を認められ、また三井銀行深川出張所主任であつた二十七歲のとき前人未踏の預金記録をつくつて銀行側をアツと驚かせたといふ插話ももち、殊に行政査察使としての手腕は萬人が認めてゐる、中京生產陣の新大臣期待の聲をきく、某生產責任者は語る 昨年來行政査察使として航空機工場はじめ鐵鋼、石炭其他戰時重要生產部門をみて廻られた時の鋭さは世人周知の事實であるが今日よくいはれる生產技術の方面にも既に着眼しその豫見は驚くべきものであり老齡といへ今なほ絶倫の精力を振つて刻下重要なる軍需生產の指導者に就任されたことは最適任者であり今後の活躍が期待される

◇

査察使として愛知縣へきた際、目のあたりみた某工場工員は語る 全くうつてつけの人を我々の大臣に迎へた、實業家だから我々に對する理解もあるだらう、藤原さんの軍需大臣就任は何んとしても嬉しいことだ、先年藤原工業大學を創設しゆく〳〵は國立大學へ寄附する決心で"ワシの生涯は藤原大學だヨ"といはれたあの氣持、あの態度でこれからの仕事をやつて頂き我々へ采配を揮つて欲しい、白紙徵用を赤紙に代へ我々始め幹部級まで增產勞務兵として名實共の兵士とされてもよろしい、希望としてお願ひしたいのは我々の作業衣の問題だ、これはなんとでも解決していたゞきたい、今は暑いので皆んな殆んど裸でやつてゐるが寒い冬が來たら…と思ふと氣が氣でない、配給物もせめて勤勞學徒諸君だけにでも甘い物をやつて欲しい、勞働につぐ勞働のあと一つの飴玉がどんなに疲勞を恢復させるとか、指導階級の人々の中で口先だけは立派なことをいつておきながらその實、裏へ廻ると總力[illegible]

---

# あす滋賀縣學徒が來援

[illegible]

# 死身の翼增產

## 加藤產報事務長檄

[illegible]

# 新潟の水害輸送對策

新潟鐵道局發表（七月二十二日）[illegible]

# 不參女子挺身隊員は警察が取調べ

[illegible]は引續きレントゲン、血沈等の細密檢査を行ひ今月末合格採用者を決定する豫定である、なほ無届不參者三百八十名あり、近く市勤勞課から再出頭の通牒を發すると共に、再度無届不參した場合は警察と連絡して斷乎強制手續きをとる準備中である、また疎開等による轉居先不明のための不參者は祖國愛の立場から自發的に所轄勤勞動員署へ屆出るやう要望してゐる

# 女子工員も二直制

愛知縣日南產業〇〇工場ではこれまで二直制は男子だけだつたがサ[illegible]

---

## 點

版「點」係

投稿歡迎▽官製はがきに三百字以内▽宛名中部日本新聞編輯局時事

### 米鬼擊滅のみ

△…[illegible]